



**うまい・きれい かほく米づくりの運動では10の技術の実践を推進しています。どれだけ実践できているか、チェックしてみましょう!**

「環境にやさしく」「うまい・きれいなかほく米づくりへ

土づくりで、土の元気を取り戻そう!

推進技術	目標	チェック
1 播種量 (うす播きの励行)	・1箱当たり120gの播種は実施できましたか。(太植による過剰生育の抑制) (高密度育苗栽培の方は3ページ目参照)	
2 育苗日数 (健苗の育成)	・播種から田植えまで <b>1か月以内</b> の育苗日数が守れましたか。(初期生育の確保) (高密度育苗栽培の方は3ページ目参照)	
3 植付本数 (3~4本植えの励行)	・1株当たり3~4本の植付本数を守りましょう。(適正茎数の確保)	
4 適正な栽植密度 (優良茎の確保)	・1坪当たり50~60株の栽植密度が確保できましたか。(適正茎数の確保)	
5 適正な施肥 (栄養凋落防止と登熟向上)	・基肥一発施肥への切り替えができていますか。 ・生育状況に応じた追加穂肥の実施をしましょう。	
6 田植え時期 (早植えの防止)	・5月田植えを実施できましたか。(過剰生育の防止)	
7 中干し・溝切り (遅発分けつの抑制)	・田植え <b>1か月後</b> からの実施 (過剰生育防止) ・中干し期間 <b>1か月</b> (コシヒカリ) の遵守	
8 除草・防除 (畦畔等除草とカメムシ防除の徹底)	・7月上旬までの追加除草 ・水稻の生育ステージにあわせた適期防除の実施	
9 水管理 (飽水管理の徹底)	・中干し後から出穂までの約 <b>1か月</b> (コシヒカリ) の飽水管理 ・出穂から刈取り直前までの <b>1か月以上</b> の飽水管理	
10 刈取時期 (適期刈取りの励行)	・籾の黄化程度に応じた刈取り	

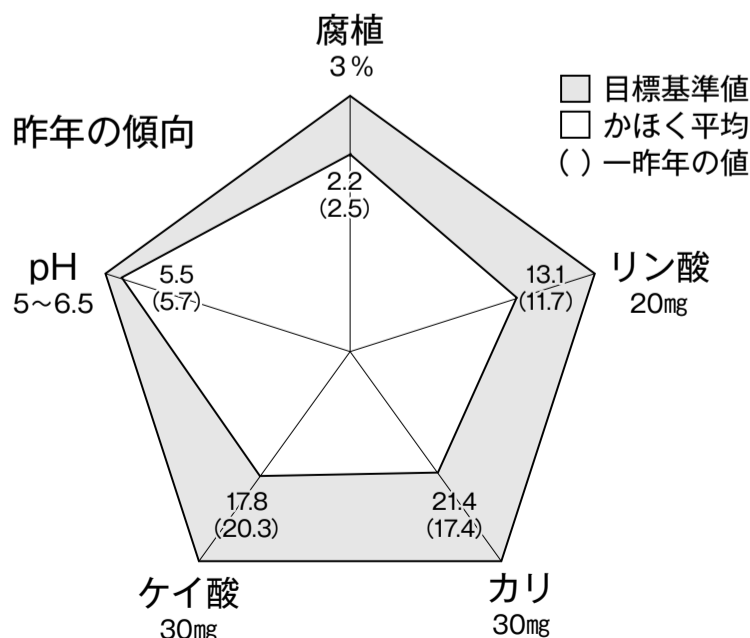
## ポイント① 土づくりは安定した米づくりの第一歩

営農の手引き6~8ページも参照ください。

●米500kg分の土づくり 土づくり資材を秋施用していない場合には春耕前に施用しましょう。

田んぼからは、収穫した籾に相当する養分が持ち出されます。

養分は肥料でも補えますが、土づくり資材によりケイ酸、リン酸、鉄分など色々な成分を補うことができます。



●土壌調査の結果、管内水田のケイ酸、リン酸の成分は不足気味です。

●安定した生産を続けるには、土づくり資材の投入による、地力増強が必要です。

資材名	施用量
かほく大地の恵 Fe	60kg / 10a
ひやくまん馬力	

右面に続きます

●播種は4月になってから！

- ・早い種播きは苗の老化や早い田植えに直結してしまい、品質低下の原因にもなります。
- ・育苗日数の目安は1か月以内です。
- ・田植日から計算して播種日を決めましょう。  
コシヒカリの田植は5月に入ってから、ゆめみづほの田植は4月末から

●播種量 120g/箱でガッチリ苗を育てましょう。

- ・乾粕で1箱当たり120g播き、必要な苗箱数は10a当たり18箱(60株植)

●種子消毒

薬剤名	使用時期	使用濃度	浸漬期間
テクリードCフロアブル	浸種前	200倍	24時間
種 粉 重 量 (kg)	5	10	15
水 量 (ℓ)	10	20	30
薬 量 (ml)	50	100	150

※テクリードCフロアブル100ml  
1本で10kgの種子が浸漬できます。

薬剤名	使用時期	使用濃度	浸漬期間
タフブロック	催芽時	200倍	24時間
種 粉 重 量 (kg)	5	10	15
水 量 (ℓ)	7.5	15	22.5
薬 量 (g)	37.5	75	112.5

●種子消毒液の残液処理は適正に！

残液はもちろん、容器等の洗浄液についても残液処理が必要です。河川や用水への排出は厳禁！  
※種子消毒の残液は下記の施設で処理します。(※無償)  
受入施設：JA北部育苗センター(電話 283-5541)  
処理希望の方は事前にご連絡ください。

●浸種 積算温度(水温×浸種日数)は100℃、コシヒカリは120℃を目安に

水 温	10℃	15℃
浸種期間(コシヒカリ)	10日間(12日間)	7日間(8日間)

※浸種水量は種粉の2倍以上とし、2日に1回水の入替えを行う。

●催芽

催芽適温	催芽程度	日 数
30~32℃	1mm(ハトムネ)	1.5~2.0日

※伸ばしすぎは芽や根が折れやすい。

◎催芽の状態(80%以上ハトムネ状態に！)



●カビ対策

病害名	薬剤名	散布方法(100箱当たり)	使用時期
白かび・青かび	ダコレート水和剤	100gを50ℓの水にと かして0.5ℓ/箱灌水(500倍液)	播種時~播種14日後まで (使用回数2回以内)
白かび・赤かび ムレ苗防止・根の生育促進 移植後の活着促進	ナエファインフロアブル	50mlを50ℓの水にと かして0.5ℓ/箱灌水(1000倍液)	播種時 (使用回数2回以内)

高密度育苗栽培に取り組まれる方へ

高密度育苗栽培は、省力・低コスト技術として期待されますが、成功させるには播種から田植えまでの管理が重要です。下記に注意してください。

- 催芽時：芽や根が長く伸びすぎると、均一に播種できず、播種量も確保できません。
- 播種量：JAから出荷される出芽苗は250g播きを基準としています。
- 播種タイミング：下記2点を考慮して作業の時期を決定してください。
  - ①田植え時期：5月10日以降をおすすめします(天候が安定する時期)。
  - ②育苗期間：15~20日と短いです(これ以上は老化苗となりやすい)。
- 根量が少なく、植え付け時に浮き苗や流れ苗となりやすいため、下記の点に留意してください。
  - ①専用田植え機を使用する。
  - ②荒起し・代かきはていねいに行い、田面を均平にする。

農作業機械による事故に注意しましょう

農作業に伴う死亡事故は、機械による作業中の事故が多く、また、4~5月の発生が多いです。

- ・交通量の少ない一般道・農道を選んで通行しましょう。急勾配な道は避け、道路幅や路肩もチェックしましょう。
- ・安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用しましょう。
- ・作業終了後、ほ場を出る前にブレーキの連結ロックをしましょう。
- ・反射板を作業機や車幅がわかる位置に貼付しましょう。



育苗は、水管理と温度管理に気をつけて。無理に伸ばさずガッチリ苗に！

育苗日数の目安は一月以内

## ポイント① 緑化期 - 出芽苗の温度・水管理が大切 - 営農の手引き43~44ページも参照ください。

- ハウスの地面は均平に！ → 傾くと低いところが過湿となり湿害が生じます。
- 軽量培土（**中セキ培土ライト**、いなほニューすみかる培土）を使用した出芽苗はハウスに並べたら十分に灌水する。  
※JA育苗センターの苗は全て軽量培土を使用しています。
- 緑化期の2~4日間は、ラブリット等で被覆し、草丈3cmとなった時点で日中は、はずす。
- 被覆資材をはずした後も苗が小さい間（1週間程度）の灌水は控えめに。
- ヤケ苗防止のため、晴天時は必ず換気する。
- 夜間はハウスを閉め、降霜が予想される場合は被覆資材をかける。
- ピアレスフィルム使用の場合は、必ず苗箱に水をたっぷり撒くこと。苗箱乾燥防止のため、すそが捲くり上がらない様注意し、7~10日（本葉1.5葉まで）シートを掛けたままにしておく。（期間中は水やり不要。）

### ●カビ対策

病害名	薬剤名	散布方法(100箱当たり)	使用時期
白かび・青かび	ダコレート水和剤	100gを50ℓの水にとかして0.5ℓ/箱灌水(500倍液)	播種時~播種14日後まで(使用回数2回以内)
赤かび	タチガレエースM液剤	100mlを50ℓの水に薄めて0.5ℓ/箱灌水(500倍液)	播種時または発芽後(使用回数1回のみ)
白かび・赤かび ムレ苗防止・根の生育促進 移植後の活着促進	ナエファインフロアブル	50mlを50ℓの水にとかして0.5ℓ/箱灌水(1000倍液)	播種時(使用回数2回以内)

高密度育苗に最適！

## ポイント② 硬化期 - 無理に伸ばさずガッチリ苗に！ - 営農の手引き43~44ページも参照ください。

### ガッチリ苗（良い苗）は…

- ・活着が良い
- ・水面からしっかり顔を出す
- ・薬害を受けにくい

### 〈ガッチリ苗に育てるために〉

- ・苗が成長してきたら（ハウスに並べて2週間を目安）、灌水は朝十分に行い、日中は最小限に、また、夕方の灌水は避ける。
- ・日中は十分に換気をする
- ・田植え7~10日前には、夜間もハウスを開放し苗を外気に慣らす。

高密度育苗の方は営農経済部・TACにお問い合わせください。

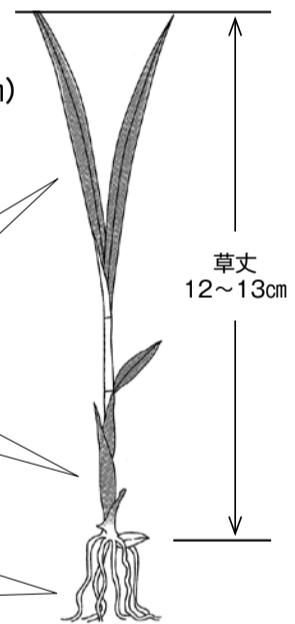
### コシヒカリ

(ゆめみづほは草丈10cm)

葉は幅が広く、まっすぐ

腰は太く、丸みがある

白くて太い根で、つやがある



## ポイント③ 耕起・代かきはあわてずに 営農の手引き45ページも参照ください。

- 耕起スピードは「ゆっくり」と。スピードをゆるめると深く耕すことができ、稲の根が伸びやすくなります。
- 田植え時期に合わせて代かきをしましょう。
- 水質負荷軽減のため、代かきは浅水で行い、田植え時の落水による濁り水を減らしましょう。

◎軟弱徒長苗、老化苗は、田植後の活着や分けつの発生が遅れます。田植時期を考えてガッチリ苗を育てましょう。

## JA石川かほくトータルコスト低減運動実施中

項目	具体的なコスト低減の要因	概算低減率
1 高密度播種苗による育苗材費の削減	最適な箱あたり播種量、最適な移植本数による育苗材費の低減	育苗材費30%
2 プール育苗による灌水作業の省力化	灌水作業の省力化、ビニールハウス開閉作業の軽減(農薬節減)	育苗灌水作業効率70%
3 直播による育苗材費の低減	育苗材費、管理作業の削減	育苗材費50%
4 水稲代かき作業の作業効率改善	代かき前の適正な耕起作業、ほ場状態の把握による作業時間の改善	代かき作業効率10%
5 移植時同時施肥・施薬機種の導入	施肥・施薬作業の軽減による作業効率の向上	施肥・施薬作業効率80%

右面に続きます

営農に関する問い合わせはJA (☎288-7555)、県央農林総合事務所 (☎239-1751) におたずねください。

●基肥

品種名	肥料名	施用量 (kg/10a)	成分量 (kg/10a)			
			N(チッソ)	P(リン酸)	K(カリ)	Si(ケイ酸)
コシヒカリ	BBけい酸パワーコシー発くん	50	5.0	7.5	6.0	6.0

※穂肥成分が含まれています。

※中間追肥を施用する必要はありません。

※リン、カリ、けい酸の成分を補い、倒伏しにくい稲体になります。

※特に側条施肥に適した肥料です。

品種名	肥料名	施用量 (kg/10a)	成分量 (kg/10a)		
			N(チッソ)	P(リン酸)	K(カリ)
コシヒカリ	BBスリム・コシー発くん特号	30	6.0	3.0	3.0
	BBエコ028号	20	2.0	2.4	1.6
ゆめみづほ	BBスリム早生一発くん	40~45	9.6~10.8	4.0~4.5	4.0~4.5
	BBエコ028号	30	3.0	3.6	2.4
ひやくまん穀	BBひやくまん穀一発くん	30~35	8.4~9.8	2.4~2.8	2.4~2.8

※一発肥料には穂肥分が含まれています。

低コスト型の肥料での栽培留意点（スリムコシ、スリム早生、エコ028号）

- ・リン、カリの成分比率は低くなっていますが、窒素の成分比率は、従来の肥料と同じです。
- ・このため、中間追肥（珪酸加里プレミアム等）を行うようにして下さい。

石川かほく環境にやさしい農業のすすめ

●代かきは浅水で行い、水田からの濁水の流出を減らしましょう。

水田から流出する濁水は、窒素やリン酸などを含んで、水質汚濁の一因となり、特に、代かき時と田植え直前の落水時に多くなります。

●「基肥一発肥料」は稲に効率よく吸収される「環境にやさしい」肥料です。

一発肥料に配合されている緩効性肥料は作物による利用率が高いため、水田から流出する窒素等の量は少なくなります。

●環境にやさしい種子消毒に取り組んでいます。

JA石川かほく育苗センターでは、環境にやさしい微生物農薬による種子消毒にも取り組んでいます。

●道路の泥汚れ防止にご協力ください。

道路に落ちた大きな泥や土のかたまりは、歩行者や車両の通行に支障をきたし、地域住民の迷惑になるうえ、交通事故の原因にもなるため大変危険です。農作業後に公道に出る際は泥を落としていただくよう、ご協力をお願いします。

「一発肥料は「乳白粒軽減」に、しかも「環境にやさしく」「省力」「安心」!

早すぎる代かきは、雑草、藻の原因に! 農作業の事故防止に努めましょう!